

バスジャーナル

2019年5月発行



日本人学校協同組合

理事長 柿中 謙一

組合員の皆様におかれましては、日頃より通学バスの運行にご協力頂き有難うございます。

シンガポール日本人学校の通学バスは、日本人学校協同組合によって運営されております。当組合は 1976 年にそれまで保護者の任意組織の下で地域ごとに運営されていたバスに関する業務を引き継ぎ、利用者の便益を向上させるべく設立された団体で、通学バスの利用を希望する児童・生徒の保護者等を組合員とし、その協力によって運営されるボランティア団体です。

通学バスの運営にあたり、組合員の中から各校委員長・副委員長、および各バス路線を担当する地区委員を選出の上、車内状況の把握や組合員との連絡等に日々ご尽力頂いております。皆様におかれましては、単に通学バスサービスの提供を受ける側の立場にあるのではなく、組合員として運営に協力する立場にあることをご認識頂きたく思います。通学バス利用にあたっての遵守事項を再度ご確認頂き、バス内での環境が、利用する児童・生徒にとって気持ちのよいものになりますよう各ご家庭での乗車マナーのご指導をお願い致します。

また当組合では、毎月の理事会にて各校の委員長・副委員長と情報を共有し、かつ校長先生方にもご出席頂き、学校側からもサポートを頂きながら、安全かつスムーズなバス運営が行われるよう努めてまいります。

今年度も皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上

シンガポール日本人学校
小学部 チャンギ校
校長 堤 祐子

今年の4月から、シンガポール日本人学校チャンギ校校長として着任いたしました堤祐子と申します。よろしくお願いたします。

4月12日の着任式、始業式の朝、29台のスクールバスが次々とチャンギ校の駐車場に入ってきます。実は、シンガポール日本人学校のスクールバスの多さは、以前こちらに派遣になっていた教員たちから聞いていたのですが、実際にその光景を目の当たりにすると改めて日本人学校に於けるスクールバスの占める重要な役割が理解できたような気がします。

朝一番の私の楽しみは、スクールバスから下りてくる子供たちを迎えることです。元気よく「おはようございます！」と降りてくる子、まだ眠気覚めやらぬ表情でぼーっと歩いている子、お友だちとおしゃべりしながら楽しそうに通り過ぎる子、表情は実に様々です。でも、学校に登校するために、日も明けぬうちから準備をして、長い時間バスに乗り学校へ来たんだなと思うと、一人一人に「よく来たね！ えらいね！」と思わず声をかけたくなってしまいます。そして、下校時の子供たち。どの子も1日の学校生活を終えた満足感か、生き生きとした表情と笑顔が目立ちます。元気よく「さようなら！」と私たち教職員にあいさつをして、軽い足取りでバスに乗り込みます。「明日も元気に登校するんだよ！」と心の中で叫びながら、バスに向かって大きく手を振ります。

チャンギ校では、一昨年度からバスリーダーの取り組みが始まりました。今年で3年目を迎えますが、そのバスリーダーには、6つの心得があります。

1. バスリーダーが手本になってバスに乗るべし。
2. 気の緩みがトラブルになることを忘れるべからず。
3. お互いのことを信頼してバス乗車すべし。
4. ルールとマナーを守るべし。
5. トラブルを抱え込むべからず。先生に報告すべし。
6. すごしやすいバスの雰囲気は自分達の手で作るべし。

高学年のリーダーたちは、年度始めに☆こんなバスにしていきたい！ ☆という目標を立てています。ドライバーさんやアンティーさんにしっかりとあいさつをする、声のボリュームを調整できるバス等々。6つの心得を下学年にも伝わるようにリーダーたちがわかりやすい言葉にして、説明しています。スクールバスでの異学年交流によって、高学年の子供たちも成長している様子が見られます。

いずれにしても、このスクールバス運営を支えているのは、日本人学校協同組合の保護者と会員の皆様のお力と聞いております。子供たちの安全、安心のために、スクールバス運営がスムーズに進むよう、今年度も、バス担当の佐藤治教諭を中心に連携を強化していきますので、よろしくお願いたします。

通学バスをご利用の皆様へ

日本人学校協同組合
チャンギ校 通学バス運行会
委員長 垣田 真矢

日頃より、通学バスの運行に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度もチャンギ校は編入生 51名と新 1年生 173名を新たに迎え、29台のバスの運行がスタート致しました。総勢 922名のチャンギっ子のうち、実に 96%以上の児童 881名が通学バスを利用しています。毎朝元気にバスから降り、校長先生を始め先生方とハイタッチしている姿はなんとも微笑ましい光景です。

一昨年度より発足されたバスリーダーは、下級生の良いお手本となるようにさらなる試みを始めてくれるようです。毎日気持ちよく通えるよう、一生懸命考えてくれています。保護者の方々も是非温かく見守っていただきますようお願いいたします。

堤校長先生主導のもと、バス主任の佐藤先生をはじめとする先生方からのご協力をいただき、バスを運行しております。児童バス班会の開催、下校バス発車時の人数確認、そして月に約 2回の下校バス同乗など、先生方のご協力が無くてはバスの運行は出来ません。また、クレメンティにある事務局本部、チャンギ事務局のスタッフの方々が通学バスに関するお仕事をしてくださっています。その他にも、バス会社の方が登下校時には毎日必ず学校へいらしてバスの運行をチェックしてください。

このように、通学バスは沢山の方々のご協力に支えられながら運行しております。子どもたちが安心して、安全に通学できますよう、バス委員一同、お手伝いをさせていただきたいと思っております。保護者の方々もご理解の上、より一層のご協力をお願いします。一年間、どうぞよろしく願いいたします。

《チャレンジ校バス満席状況》

満席 : なし

ほぼ満席 : E10 SOLEIL B、 E11 CAIRNHILL CREST、 E15 ST. THOMAS

*転居の際は、必ずポイントの有無並びに空席状況を地区委員までお問い合わせください。

《安全に気持ちよくバスをご利用いただくために》

- お子様の送迎は保護者の責任でお願いします
- 乗車中のマナーについて、ご家庭でもご指導をお願いします
- バス運行路線は、年度途中で変更できません
- バス内に忘れ物をしないよう、お子様へのお声掛けをお願いします

「通学バス利用の手引」「組合員の皆様へ」を今一度ご一読ください。また、今後発行されます「バス運行会だより」も必ずお読みいただきますよう、重ねてお願いいたします。

《通学バスは通学児童の乗り物です》

一般保護者の方が通学バスを利用することはできません。但し、空席がある場合は、事前に理由を運行会まで申請して頂いたうえで、ご利用を許可しております。空席情報や詳細は、地区委員までお問い合わせください。

《中学部運行会からのお願い》

中学部は全島校区で、小学部に比べ少人数の生徒を、限られた路線数、ポイント数内でピックアップできるよう配線に努力しております。しかしながら、現在配線している地域以外から、入学・転入される場合は、やむなく、お住まいの近くでのピックアップをお断りせざるを得ない場合があることをご理解ください。中学部のピックアップ状況を、路線表(学校ウェブサイト参照)でご確認ください。
